

皆様あけましておめでとうございます。

わたしたちの有田市立病院は、有田地域の皆さんが元気な時も病める時も最後まで安楽に過ごしていただけるように医療サービスを提供することを第一としています。本年も皆さんのお役にたてるよう、職員一同力を合わせてまいります。

2025 年はコロナ禍により全国の 7 割の病院が経営に何らかの支障を来していることがわかりました。当院も病院運営には厳しいものがあります。しかし、病院は患者さんや利用される方々のためにありますので、少しでも多く皆さんのお役に立てることがすべてを良い方向に向けられると信じています。

現在新病院が 2027 年 4 月の移転開院に向けて建設中です。わたしたちの病院が果たせる役割はどこにあるのかをはっきりさせて、皆さんの役に立てる新病院をスタートさせたいと思っています。

そのために私たちは良い医療を提供しなければなりません。それは医療レベルが良いのはもちろんのこと、職員一人一人の言葉使いや態度、そして相手を思いやる気持ちがいかに重要なこととなります。その一人一人の力が協働することで良い医療が実現するわけですから、職員が一体となる必要があります。職員が皆さん方を思いやるのと同じように、職員同士も互いに思いやることができれば、理想の病院像が浮かんできます。これを実現できるようにいつも願い、努力することが今年の病院目標です。

皆様方の指導や助言をいただきつつ、職員はプロフェッショナルを意識して取り組みます。今後も変わらぬご支持を頂けますようお願いいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

参考までにこれからの有田市人口がどう変化するかを示します（数字は概数）。

	2025 年	2040 年
有田市総人口	24520 人	→ 18400 人
65 才以上人口	9200 人	→ 8600 人
働き手の人口	12500 人	→ 8500 人

1 世帯あたり人口 2.2 人 → 1.7 人（1 人暮らし・2 人暮らしが増える）

将来 65 才以上人口は減るのですが、働き手人口はもっと減少します。これは働き手 1 人当たり支える高齢者は 1 人以上になる、つまり支える世代の負担が増えるということです。そのために病院でできる必要な対策は以下の通りとなります。

（１）高齢者の健康寿命をのばすことで支える世代の負担を減らす。健診・人間ドックやリハビリテーションが大きく役立ちます。

（２）医療・介護・福祉の機能分担と集約化です。病院毎の役割分担や集約化が必

要になります。

（３）お元気な高齢者を労働人口に組み入れることです。これは定年延長や再雇用など、働ける人の年齢上限を上げることであり、今もすでに取り組まれ始めていることでもあります。